

2017年度 和泉短期大学

| | | | |
|----------------|--|------------------------|-------|
| 授業科目名 | 相談援助 | 教員氏名 | 横川 剛毅 |
| 学年 | 2年 | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講学期 | 前期 |
| 必修・選択 | 保育士必修・幼免必修 | 単位数 | 1単位 |
| テーマ | 保育者に必要な相談援助の基礎的知識、技術の習得 | | |
| 授業の概要 | 教育、保育における相談について、その基本となる理論と方法及び心構えを学ぶ また、幼児や支援を必要とする家庭を理解するために必要な技術を学ぶ そして、相談事例の検討を通して実践的に学ぶ | | |
| 授業の到達目標 | ①保育者として必要な、教育、保育における相談援助の知識を習得できる ②保育者、支援者に求められるコミュニケーション技術を身に付けることができる ③事例検討と発表を通して、教育、保育における相談援助の実践力を体得できる | | |
| テキスト | 前田敏雄 監修 佐藤伸隆 中西遍彦 編『演習・保育と相談援助』第2版 みらい | | |
| 参考書 | 授業内で提示する 授業中にプリントを配布する | | |
| ポートフォリオ | 授業内で提示する | | |
| 成績評価方法 | 授業内試験50%、発表課題25%、授業に臨む姿勢25% | | |
| 授業概要と課題 | | | |
| 第1回 | テーマ 内容 | オリエンテーション 保育・幼児教育と相談援助 | |
| | 授業外指示 | プリントを再読して復習する | |
| 第2回 | テーマ 内容 | 保育・幼児教育における相談の基本 | |
| | 授業外指示 | プリントとテキスト第1章を再読し、復習する | |
| 第3回 | テーマ 内容 | 観察に基づく幼児及び要支援家庭の理解 | |
| | 授業外指示 | プリントとテキスト第2章を再読し、復習する | |
| 第4回 | テーマ 内容 | 幼児理解に向けた活動の実践 | |
| | 授業外指示 | プリントを再読し、復習する | |

| | | |
|--------|-----------|----------------------------------|
| 第 5 回 | テーマ 内容 | 幼児理解に向けた活動の振り返り |
| | 授業外指示 | プリントとテキスト第 5 章を再読し、復習する |
| 第 6 回 | テーマ 内容 | 専門的信頼関係を形成するためのコミュニケーション技法 |
| | 授業外指示 | プリントを再読し、復習する |
| 第 7 回 | テーマ 内容 | コミュニケーションを滑らかにするための技法 |
| | 授業外指示 | プリントとテキスト第 5 章を再読し、復習する |
| 第 8 回 | テーマ 内容 | 教育・保育における相談の理論と方法 |
| | 授業外指示 | プリントとテキスト第 2 章を再読し、復習する |
| 第 9 回 | テーマ 内容 | 相談を受ける者としての心構え |
| | 授業外指示 | プリントを再読し、復習する |
| 第 10 回 | テーマ 内容 | 他者を理解するために必要な自己理解 |
| | 授業外指示 | プリントとテキスト第 4 章を再読し、復習する |
| 第 11 回 | テーマ 内容 | 学習の振り返りと到達度合いの確認 |
| | 授業外指示 | テキスト第 14 章の事例を読み込む |
| 第 12 回 | テーマ 内容 | 教育相談・保育相談の記録と事例検討 |
| | 授業外指示 | 選んだ事例について、これまでの学びを踏まえて自分の見解をまとめる |
| 第 13 回 | テーマ 内容 | 教育相談・保育相談の実際 |
| | 授業外指示 | 発表に向けて準備する |
| 第 14 回 | テーマ 内容 | 事例検討の発表 |
| | 授業外指示 | 発表を振り返る |
| 第 15 回 | テーマ 内容 | 事例検討の発表とまとめ |
| | 授業外指示 | 発表を振り返り、授業全体の復習する |

2017年度 和泉短期大学

| | | | |
|---------|--|------|-------|
| 授業科目名 | 相談援助 | 教員氏名 | 中野 陽子 |
| 学年 | 2年 | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講学期 | 後期 |
| 必修・選択 | 保育士必修・幼免必修 | 単位数 | 1単位 |
| テーマ | 教育・保育の相談援助に必要な基礎的な価値・知識・技術の習得 | | |
| 授業の概要 | 教員・保育者として必要となる相談援助・教育相談の理論を習得する。また、幼児理解の方法についての理解を深める。さらに、教育・保育相談の基本となる価値・倫理について学ぶ。併せて、コミュニケーション技術の学習と教育・保育相談事例の検討により教育・保育相談実践や幼児理解に生かせるようにする。 | | |
| 授業の到達目標 | ①教育・保育者として必要な、教育、保育における相談援助の知識を習得できる ②教育・保育者に求められるコミュニケーション技術を身に付ける ③事例検討を通じて、教育、保育における相談援助の実践力を体得する | | |
| テキスト | 前田敏雄監修、佐藤伸隆・中西遍彦編集『学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会 演習・保育と相談援助』第2版 みらい | | |
| 参考書 | 必要に応じ授業内で指示する 授業中にプリントを配布する | | |
| ポートフォリオ | 授業内で指示したワークをポートフォリオに綴じること | | |
| 成績評価方法 | 試験50%、授業に取り組む姿勢50% | | |

授業概要と課題

| | | |
|-----|-------|---|
| 第1回 | テーマ内容 | オリエンテーション、授業の進め方、幼稚園教諭・保育者が相談援助を学ぶ意義 |
| | 授業外指示 | 教科書第1章を事後学習する 教科書第2章、第3章を事前学習する |
| 第2回 | テーマ内容 | 幼児教育・保育における相談の基本(相談者としての幼稚園教諭・保育者の役割と視点) |
| | 授業外指示 | 教科書第2章、第3章を事後学習する 教科書第4章を事前学習する |
| 第3回 | テーマ内容 | 幼児教育・保育における相談の基本(相談援助の過程)、相談者になるために(自己理解) |
| | 授業外指示 | 教科書第4章を事後、事前学習する |
| 第4回 | テーマ内容 | 相談者になるために(自己理解と他者理解) |
| | 授業外指示 | 教科書第4章を事後学習する 教科書第2章を事前学習する |

| | | |
|------|-----------|---|
| 第5回 | テーマ 内容 | 幼児教育・保育における相談の基本（パイスティックの7原則） |
| | 授業外指示 | 教科書第2章を事後学習する 教科書第6章を事前学習する |
| 第6回 | テーマ 内容 | 相談者になるために（コミュニケーション技法：言語コミュニケーション） |
| | 授業外指示 | 教科書第6章を事前、事後学習する |
| 第7回 | テーマ 内容 | 相談者になるために（コミュニケーション技法：非言語コミュニケーション） |
| | 授業外指示 | 教科書第6章を事前、事後学習する |
| 第8回 | テーマ 内容 | 相談者としての心構え（基本的原理）、教育・保育相談の進め方（原則）、教育・保育相談の進め方の実際（子育て） |
| | 授業外指示 | 教科書第6章を事前、事後学習する |
| 第9回 | テーマ 内容 | 幼児理解（幼児観察法を中心とした理論と方法）、教育・保育相談の進め方の実際（幼稚園） |
| | 授業外指示 | 教科書第6章を事前、事後学習する |
| 第10回 | テーマ 内容 | 教育・保育相談の進め方の実際（虐待） |
| | 授業外指示 | 教科書第6章を事後学習する 教科書第7章を事前学習する |
| 第11回 | テーマ 内容 | 記録について（記録の書き方） |
| | 授業外指示 | 教科書第7章を事後学習する 教科書第13章、第15章を事前学習する |
| 第12回 | テーマ 内容 | 事例検討 |
| | 授業外指示 | 教科書第13章、15章を事後学習する 教科書第2章を事前学習する |
| 第13回 | テーマ 内容 | 相談者としての心構え（価値・倫理） |
| | 授業外指示 | 教科書第2章を事後学習する 教科書第5章を事前学習する |
| 第14回 | テーマ 内容 | 相談者になるために（他者理解） |
| | 授業外指示 | 教科書第5章を事後学習する 事前学習として教科書全てを復習する |
| 第15回 | テーマ 内容 | 幼児とその家族の相談者としての役割について（まとめ） |
| | 授業外指示 | 幼稚園教諭・保育士としての相談援助について総括する |